

令和元年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

「授乳・離乳の支援ガイド」の普及啓発に関する調査研究

株式会社 キャンサースキャン

調査目的：

妊産婦や子どもに関わる保健医療従事者が基本的事項を共有し支援を進めるための「授乳・離乳の支援ガイド」は、最新の科学的知見と、育児環境や就業状況の変化、母子保健施策の充実等、授乳及び離乳を取り巻く社会環境等の変化を踏まえ、2019年3月に改定版が公表された。一方で、保護者には未だ、授乳・離乳に関する様々な困りごとが存在し、その対処にあたっては、育児雑誌やインターネット等を活用し情報収集していることも調査によって明らかになっており、正しい情報へのアクセス環境を整えることが求められている。

本事業は、「授乳・離乳の支援ガイド」（2019年3月改定）に基づき、授乳・離乳を進める上で必要な情報をわかりやすく伝える啓発資材の開発を通して、母親を含めた乳児の保護者が、授乳・離乳を実践しやすい環境を整えることを目的とした。

事業概要：

本事業では、保護者（主に母親）に授乳・離乳を進めるにあたっての適切な情報を発信することを目指し、「授乳・離乳の支援ガイド」（2019年3月改定）に整理された情報に基づく、保護者向けの啓発資材の開発を行った。

資材の開発にあたっては、妊産婦支援に積極的に取り組んでいる自治体担当者へのヒアリング調査や、当事者である乳児の母親へのインタビュー調査から聴取した知見をもとに、伝えるべきメッセージや表現を検討し、2度に亘る研究会等を通して、有識者（産婦人科医、小児科医、助産師、保健師、管理栄養士や、母親の立場からWHOのガイドライン等の情報発信を行っているブログの運営者、等）7名より助言を受けつつ開発を行った。また、資材案がまとまった時点で改めて、当事者である乳児の母親を対象としたインタビュー調査を実施し、主たる啓発ターゲットの反応を確認しながら、最終化を行った。

事業の成果物：

ヒアリング調査及びインタビュー調査を通して、授乳・離乳期の母親においては、認知が十分ではない情報や、悩みを深くする多くの思い込みがあることが明らかとなった。また、情報収集の方法や、母親への支援におけるいくつかの課題についても、調査を通して整理された。こうした思い込みや課題を解消するため、それぞれの時期に発信すべき情報をわかりやすく伝えるために、以下の通り、4部構成の資材を開発した。

- ☆ 妊娠したママのための「授乳準備ガイド」
- ☆ もうすぐ出産するママのための「授乳スタートガイド」
- ☆ 産後2週間を過ぎたママのための「授乳のギモン解消ガイド」
- ☆ 生後5か月からの「離乳スタートガイド」

資材は、紙媒体、電子媒体のいずれにおいても、活用を可能な作りとした。

これらの資材が、自治体や医療機関における活用を通して、母親含めた多くの保護者の目に触れることで、授乳・離乳に関する様々な不安や困りごとが解消し、正しい情報に基づいた、適切な授乳・離乳の実践が促進されることが期待される。